

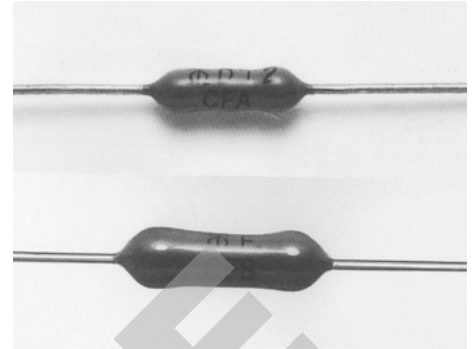
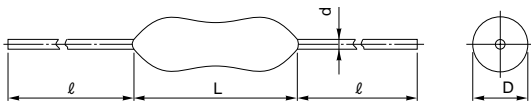
絶縁塗装形金属皮膜抵抗器 (CFシリーズ)

特長

- 価格が安い。
- 小型である。
- 抵抗温度特性が小さい。
- 絶縁型である。
- 安定度、信頼度が優れている。

外形寸法

形状はCFM、CFAおよびCFBの3種類があり、外形寸法は以下のとおりとします。



単位mm

形名	直径 D	長さ L	リード線径 * d	リード長さ ℓ
CFM	2.3 ± 0.2	6.4 ± 0.8	0.65	38 ± 3
CFA	2.5 ^{+1.0} / _{-0.5}	9 ± 1.5		
CFB	3.5 ^{+1.0} / _{-0.5}	13 ± 1.5		

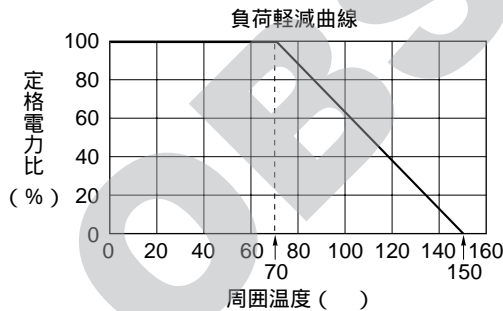
* 公称線径

電気的定格

形名	定格電力 W	最高使用電圧 V	最高過負荷電圧 V	定格周囲温度	使用温度範囲
	70				
CFM	1/8	200	400	70	- 55
CFA	1/4	250	500		+
CFB	1/2	300	600		+ 150

軽減曲線

周囲温度が70 を超える場合は、軽減曲線により定格電力を軽減して下さい。



抵抗値製作範囲

抵抗値製作範囲は、抵抗値許容差及び抵抗温度特性により以下ようになります。

形名	抵抗値許容差記号	抵抗温度特性記号	製作抵抗値範囲	
			最低抵抗値	最高抵抗値
CFM	J	T31	1	10未満
	G・J	T31	4.7	10未満
	F・G・J	T31	4.99	10未満
	D・F・G・J	T2・T3	10	301k
	B・C・D・F・G・J	T1・T2	49.9	301k
	D・F・G・J	T1	20	301k

形名	抵抗値許容差 記号	抵抗温度特性 記号	製作抵抗値範囲	
			最低抵抗値	最高抵抗値
CFA	J	T31	1	10未満
	G・J	T31	4.7	10未満
	F・G・J	T31	4.99	10未満
	D・F・G・J	T2・T3	10	511k
	B・C・D・F・G・J	T1・T2	49.9	511k
	D・F・G・J	T1	20	511k
CFB	J	T31	1	10未満
	G・J	T31	4.7	10未満
	F・G・J	T31	4.99	10未満
	D・F・G・J	T2・T3	10	1M
	B・C・D・F・G・J	T1・T2	49.9	511k
	D・F・G・J	T1	20	1M

抵抗値許容差

B : ±0.1%
C : ±0.25%
D : ±0.5%
F : ±1.0%
G : ±2.0%
J : ±5.0%

抵抗温度特性

T1 : ± 25ppm/
T2 : ± 50ppm/
T3 : ± 100ppm/
T31 : ± 200ppm/

特性

項目	試験方法	規格値
短時間過負荷	定格電圧の2.5倍の電圧又は、最高過負荷電圧の何れか低い方の電圧を5秒間印加する。試験後、30分以上経過してから抵抗値を測定する。	±(0.25% + 0.05) 以内
絶縁抵抗	端子と外装との間（Vブロック法）に500V（d.c.）を1分間印加後に絶縁抵抗値を測定する。	10,000M 以上
耐電圧	端子と外装との間（Vブロック法）に500V（a.c.）（CFM, CFA）または700V（a.c.）（CFB）を5秒間印加する。試験後、抵抗値を測定する。	±(0.25% + 0.05) 以内
端子強度	引張強度：端子引き出し方向に25Nの荷重を加える。 捻回：360度を1回とし、反対方向に360度を2回として合計5回行う。	±(0.25% + 0.05) 以内
耐振性	10～55Hzの低周波振動を振幅1.5mm、2方向に合計6時間加える。	±(0.25% + 0.05) 以内
はんだ耐熱性	350±10、3秒間浸せきする。	±(0.2% + 0.05) 以内
はんだ付け性	230±5 のはんだ中に端子を5±0.5秒間浸せきする。浸せき後、アルコールで洗浄してからはんだの付着具合を確認する。	95%以上新しいはんだで覆われていること
温度サイクル	-65（30分間）～25（15分間）～+150（30分間）～25（15分間）を1サイクルとし5サイクル行う。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(0.25% + 0.05) 以内
耐湿負荷寿命	温度40、相対湿度90～95%の槽中で定格電圧を90分間印加し、30分間休止するサイクルを1000時間行う。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(1% + 0.05) 以内
負荷寿命	温度70の槽中で定格電圧を90分間印加し、30分間休止するサイクルを1000時間行う。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(1% + 0.05) 以内
低温動作	周囲温度 -65、定格電圧を45分間印加する。試験後、24時間経過してから抵抗値を測定する。	±(0.25% + 0.05) 以内
抵抗温度特性	室温～室温+100の範囲において測定	抵抗温度特性範囲内
パルス特性	定格電圧の3倍の電圧1秒間印加、25秒間休止を10,000回行う。	±(0.25% + 0.05) 以内
耐溶剤性	2-プロパノールに60秒間浸せきするか、水（イオン交換水又は蒸留水）5分間浸せきする。	外装及び表示に異常がないこと

（注）上記製作範囲以外のご要求および、特に、より一層厳格な安定度をご要求の場合は、弊社製品、高精密金属皮膜抵抗器（MF）および高抵抗値金属皮膜抵抗器（UF）のご使用をお奨めいたします。

表示

表示は捺印表示とカラーコード表示の2種類があり抵抗値許容差により異なります。

表示	抵抗値許容差記号
捺印	B・C・D・F
カラーコード	G・J

捺印表示は以下ようになります。カラーコード表示の表し方はカラーコードによる表示の105ページを参照してください。

形名	表示例	表示項目
CFM	$\overline{\Omega}$ CT1 34.8k	商標 抵抗値許容差 抵抗温度特性 公称抵抗値
CFA	$\overline{\Omega}$ CT1 CFA 134.8k	商標 抵抗値許容差 抵抗温度特性 形名 公称抵抗値
CFB	$\overline{\Omega}$ DT1 CFB 134.8k	商標 抵抗値許容差 抵抗温度特性 形名 公称抵抗値

抵抗温度特性T3, T31は表示しません。

包装

包装はバルク包装を標準とし、CFMは100個/袋、CFAとCFBは50個/袋単位とします。

品名の構成・ご発注方法

以下の品名の構成によってご発注ください。

なお、ご発注される場合の数量は、最小包装単位のn倍にてお願いいたします。

例)

